

2023年度(令和5年度) 日吉みんなの保育園 園の自己評価

① 「子どもの人権の尊重」について

園の保育理念は「子どもの人権を守る」「保護者・地域・職員が子どもと共に育ちあう」とし、職員と家庭が子どもを真ん中に話し合って保育を進めている。保護者には、入所説明会や懇談会で説明し、毎月の園便りにも掲載し常に意識できるようにしている。職員間でも常に意識し保育を行っている。

② 「サービスの実施内容」について

常に子どもたちにとっての最善を考え、保育する中で行事についてを見直し、企画し、実行することができた。子どもたちが楽しめること、日々の保育が行事のための活動ではなく、活動の中から行事につながるよう、日々の積み重ねを大切にしながら、取り組んでいくことができた。保護者も参加できる行事になった。

コロナ禍で中止としていた保育参加を再開し、日々の保育の様子を保護者の方に直接見ていただく機会を作る事が出来た。誕生日会への保護者の参加も受け入れを再開した。

「日吉みんなのコンサート」として、バイオリン・ピアノ・パーカッションの演奏を生で体験できる機会を設けることができたことは、とても良かった。

③ 「地域支援機能」について

子育て支援の一環として「あそぼう会」を開催し、保育園に通っていない地域の親子を招待し、ふれあい遊びや、パネルシアター、手遊び、絵本の紹介等をしなが、子育て相談にもこたえた。一時預かりについては、可能な限り受け入れた。地域の町内会に入会し情報を得ている。

④ 「開かれた運営についての評価

ホームページに情報を掲載している。地域の子育て雑誌への情報提供をできる範囲で行っている。実習生・職業体験・ボランティアは積極的に受け入れている。

園見学については、見学会の開催に加え見学希望には対応し、多くの方が見学に来園した。園の紹介、離乳食の進め方、うつ伏せ寝のリスク等についても情報の提供ができた。

理事長・園長・保護者代表・職員代表・外部運営委員にて、運営委員会を開催し、園の運営についての説明や、保護者からの要望等を話し合う機会を設けている。保護者からの要望については理事会・

⑤ 「人材育成・援助技術の向上」についての評価

キャリアアップ研修へ積極的に参加できるようにした。また、環境について、不適切な保育について、子どもの人権について等、オンライン研修を視聴し、意見交換をする園内研修にも力をいれることができた。職員会議、幼児会議、乳児会議、クラスミーティング等を行うことにより職員間での情報の共有ができた。姉妹園との年齢別の話し合いを行うことで、お互いの保育についての学びの場ともなった。今後も、引き続き人材育成を、積極的に取り組み保育の質の向上を目指していきたい。また、経験や能力

⑥ 「経営管理」についての評価

理事会、職員、保護者会との協議のもとで、運営をしている。働きやすい職場をめざし、就業規則の改訂もおこなった。休憩時間、事務時間の補償ができるよう職員配置を増やすなど、工夫した。経営管理について園としての取り組みや計画を職員に周知するよう務めた。

◎ まとめ

今年度は、コロナウイルス感染症が5類となったことで、様々なところで変化があり、園児の転出入が多い年になった。常に子どもたちにとっての最善を考え、保育に取り組んでいる。保護者が不安や不信感を持つことのないよう情報の提供、共有を心掛けている。子どもたちに寄り添うことだけでなく保護者、職員一人ひとりにも寄り添い、より良い人間関係を築いていくこと、また更なる保育の質の向上を目指し、より良い保育の提供と人材育成に努めていく。